

こおり むねしげ
桑折 宗臣 (1634~1686)

俳人。歌人。宇和島藩家老。江戸(現、東京都)の宇和島藩邸で宇和島伊達家初代・伊達秀宗の四男として生まれる。7歳で城代家老・桑折宗頼の跡継ぎとなり、承応元(1652)年、桑折家16代として家老職を継ぐが、後に家督を弟に譲って宇和島藩の城代家老職を退き、隠居して風雅の道を究めた。俳諧は北村季吟を師とし、伊予の俳人として最初に編集し刊行した発句集である『大海集』や貞門派(松永貞徳を祖とする俳諧の流派。漢語や俗語を用い、用語の洒落や滑稽味を特色とする)俳諧集の圧巻として著名な『詞林金玉集』、俳諧連歌集である『郭公千句』など多数の著書を残した。

略歴

寛永11(1634)年12月21日	江戸で宇和島伊達家初代・伊達秀宗の四男として生まれる。
寛永17(1640)年	城代家老・桑折宗頼の跡継ぎとなり、宇和島に移住
承応元(1652)年	桑折家16代として家老職を継ぐ。
寛文4(1664)年頃	家督を弟に譲り、隠居 作法書である『弊囊集』を著す。
寛文12(1672)年	和歌集『宗臣君御自詠』発表 『大海集』を編集し刊行 俳諧連歌集『郭公千句』を共同で執筆
延宝5(1677)年	作法書『知新抄』を著す。
延宝7(1679)年	『詞林金玉集』を編集し、刊行
延宝8(1680)年	『青松軒之記』を著す。
貞享3(1686)年3月3日	53歳で永眠

〈関連図書〉

- ・美山靖編『大海集(翻刻編)』愛媛大学古典叢刊刊行会 1982年
 - ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 文学』愛媛県 1984年
 - ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』愛媛県 1989年
- 〈ゆかりのある場所〉…(P296, 130)